

## はじめに



インフラ長寿命化センター  
センター長 松田 浩

平成24年1月でインフラ長寿命化センターは設立5周年を迎えました。実質的な活動を実施するために、当センターが中心として申請・採択された文部科学省科学技術戦略推進費（科学技術振興調整費）「観光ナガサキを支える“道守”養成ユニット」（平成20～24年度）も文科省から補助を受けるのは、平成24年度が最終年度です。

平成23年度には、“道守補助員”に43人、“道守補”に35人、“特定道守”に14人、“道守”に2人が受講されました。4年間の養成人数も、“道守補助員”139人、“道守補”93人、“特定道守”30人、“道守”7人に達し、すでに5年間の予定を超えた人数を養成しています。

平成24年2月10日に「地域の道路インフラを考える」、3月9日に「日本を元気に！熱血土木談義」をテーマに、2回にわたりシンポジウムを開催しました。シンポジウムには、道守受講者、長崎県内の自治体職員、建設業及びコンサルタント関係者、講師、大学関係者等多数の参加がありました。

長崎新聞文化ホールで開催された、シンポジウム「地域の道路インフラを考える」では、主催者を代表して片峰茂長崎大学学長および長崎県土木部前川様より挨拶がありました。シンポジウムの基調講演では清水了典様（独）科学技術振興機構より『地域再生人材創出拠点の形成～「道守」養成ユニットの成果と継続～』をテーマにご講演いただくとともに、特別講演では桑原徹郎様（独）土木研究所構造物メンテナンス研究センター）より『橋梁メンテナンスにおける課題と取組み』、太田貞次先生（香川高等専門学校）より『香川県内市町が管理する橋の現況報告と長寿命化対策』と題してご講演いただきました。後半の話題提供では各地地域の事例として、長野県下條村の事例を伊藤喜平村長に、福島県の事例を岩城一郎先生（日本大学土木工学科）に、長崎県の事例を田崎敏昭様（長崎県土木部道路維持課）に、国の事例を末吉秀幸様（国土交通省道路保全企画官）により話題提供していただくとともに、その後のパネルディスカッションでは、地域の道路インフラの維持管理についての思いや考えを熱く討論されました。

次に、3月9日に長崎大学中部講堂で開催されたシンポジウム「日本を元気に！熱血土木談義」では、山下副学長の開会挨拶に続き、森田千尋准教授（インフラ長寿命化センター）が平成23年度“道守”養成ユニットの実施内容について、各コースにおける養成状況、道守認定者の主な活動や成果の報告を行いました。特別講演では、栗野修司様（国土交通省九州地方整備局）が『「活力ある九州」の実現に向けた社会資本整備』、藤井聡先生（京都大学）が『公共事業が日本を救う～今こそ「レジリエンス」あるくにづくりを』と題し講演していただきました。

藤井教授は講演の中で、「近い将来に発生が予想される巨大地震に耐えうるよう日本を強靱化するためには、東海地震を想定し東西交流を促進するためのインフラ整備を進めるとともに、首都圏と太平洋ベルトの都市機能およびGDPを日本海側や九州、北海道に分散移転させるべき。そのためには新幹線を中心とした都市間をつなぐ高速交通インフラの整備が極めて効果的であり、長崎や高速交通体系が未整備の東九州地域への新幹線の整備も必要。」と話されました。

さらに、細田暁先生（横浜国立大学）が『コンクリート建造物の品質確保・性能確保を通じたポジティブスパイラルシステムの構築』を、田村隆弘先生（徳山工業高等専門学校）が『「たかがひび割れ、されどひび割れ」コンクリートのひび割れが教えてくれること山口県のひび割れの抑制システムづくりから』について話題提供していただきました。その後、多田彰秀教授（長崎大学）をモデリストとして、パネルディスカッションが行われました。

“道守”養成ユニットは文部科学省からの補助を受けるのは平成24年度までです。

道守講座の認定修了者は、道守OB会を作り、毎年数回の会合を開催しています。平成24年4月20日（金）に開催した会議では、「“道守”の実績をつくるために、まずボランティアで点検を行い、長崎県が取り組んでいる愛護団体・アダプト制度に登録し活動を行うこと」を決定し、5月25日付で長崎県の道路愛護団体、「道守養成ユニット長崎地区」を設立しました。「道守養成ユニットで学習した点検に関する知識を活用して、認定者がボランティア活動しながら長崎の道路を見守っていくこと」が、活動の主たる内容です。第1回目の活動として“父の日”の6月17日（日）に長崎大学周辺の道路を約8kmにかけて、道路の美化や点検を実施しました。幸い天候にも恵まれて参加者は大学関係者も含めて25名の参加があり、その中には子供同伴での参加や、地元の方から声をかけられたりなどとても賑やかに活動できました。日曜日の早朝から長時間の参加ありがとうございました。今後も定期的に活動を計画しておりますので、是非ご参加のほどをお願いいたします。

平成23年度は道守事業の広報の一貫として、下記のように多くの講演依頼に対処しました。

JCI九州支部総会（福岡市：4/21）長崎県土木施工管理技士会（長崎市：6/7）国土交通省九州地方整備局（鹿児島市：8/1）、西日本高校土木教育研究会（佐世保市：8/2）、横浜国大安心・安全の科学研究教育センター（長崎大学：8/5）、高校生公開講座（長崎大学：8/12）、大分県コンクリート診断士会（大分市：9/15）、西日本橋梁ネットワーク（長崎大学：9/16）、日本建設業連合会（長崎大学：10/6）、長崎県研修（NERC：10/27）、山口大学（山口大学：11/18）、JCI中部支部（名古屋大学：11/20）、長崎県市町道路担当者会議（長崎市：11/21）、先端科学技術シンポジウム（関西大学：H24/1/25）、「インフラ・イノベーション」研究会（東京大学：2/16）、全日本建設技術協会（長崎市：2/23）。

さらに、長崎大学でも、平成24年度長崎県総合計画推進会議（官民一体となって取り組むべき事項）「雲仙・島原、未来環境実践フィールド形成事業」の中に道守プログラムが取り入れられるとともに、今後の継続に向けてさまざまな予算申請を行っています。また、当然のこととして、本プログラムの継続に向けて、長崎県をはじめ主要関係機関と鋭意協議を続けています。

平成24年度は平成25年度以降の“道守”養成ユニットの道筋を構築する上で重要な年です。インフラ長寿命化センターもさらなる発展を目指してゆかなければなりません。学内外の多くの方々にはこれまで以上にご協力とご支援を賜りますようよろしくおねがい申し上げます。

平成24年7月25日記

## インフラ長寿命化センター構成員

センター長	： 松田 浩
副センター長	： 山下 敬彦
副センター長	： 中村 聖三
第1部門長	： 奥松 俊博
第2部門長	： 才本 明秀
第3部門長	： 森田 千尋
産学官連携研究員	： 出水 享、牧野 高平、渡部 祐介
技能補佐員	： 樋口 亮
事務補佐員	： 松永 佳代子

所 属	氏 名	役 職
工学研究科工学領域	松田 浩	教授
	山下 敬彦	教授
	中村 聖三	教授
	森田 千尋	准教授
	才本 明秀	教授
	原田 哲夫	教授
	蔣 宇静	教授
	茅田 彰秀	教授
	勝田 順一	准教授
	田邊 秀二	教授
	森山 雅雄	准教授
	田中 俊幸	准教授
	近藤 慎一郎	准教授
	下本 陽一	准教授
	西田 涉	准教授
	山口 朝彦	准教授
	奥松 俊博	准教授
	杉本 知史	助教
	安武 敦子	准教授
	坂口 大作	准教授
西川 貴文	助教	
諸麦 俊司	助教	
教育学部	全 炳徳	教授
水産・環境科学総合研究科 環境科学領域	高尾 雄二	教授
	杉山 和一	准教授

# 目次

	頁
<b>第1章 インフラ長寿命化センター活動報告</b>	
1.1 概要	1-1
1.2 活動状況	1-2
<b>第2章 平成23年度「観光ナガサキを支える“道守”養成ユニット」実施報告</b>	
2.1 事業目的	2-1
2.2 地域再生人材創出構想の内容	2-1
2.3 本事業の執行者	2-2
2.4 講義・実習担当の構成	2-3
2.5 実施項目と役割分担実績	2-7
2.6 実施体制の反省点と次年度に向けての課題	2-9
2.7 各地区の認定者数	2-10
2.8 シンポジウムについて	2-11
2.9 広報活動	2-13
付録資料	2-14
<b>第3章 「情報通信技術（ICT）を活動した新たな社会基盤の維持管理（防災対応）事業」実施報告（総務省「地域ICT利活用広域連携事業」）</b>	
3.1 概要	3-1
付録資料	3-5
<b>第4章 「長崎県の産業を支える人材育成事業」（地域を支える建設分野の人材育成事業）実施報告</b>	
4.1 概要	4-1
4.2 実施報告	4-3

<b>第5章</b>	<b>「再生可能エネルギーの地産地消プロジェクト～池島開発に関する視察結果(メガソーラー発電所立地提案)～」(大学高度化推進経費 社会貢献・産学連携推進プログラム 計画調書)</b>	
5.1	平成23年度大学高度化推進費 社会貢献・産学連携推進プログラム取り組み概要	5-1
	付録資料	5-2
<b>第6章</b>	<b>外部資金への申請と採択状況</b>	
6.1	平成23年度科学研究費補助金採択分	6-1
6.2	平成20～24年度 科学技術戦略推進費	6-1
6.3	その他外部資金	6-1
<b>第7章</b>	<b>研究活動</b>	
7.1	研究業績	7-1
	7.1.1 研究活動	
	7.1.2 招待講演等	
	7.1.3 学会賞の受賞	
	7.1.4 学会役員等	
	7.1.5 学会、学術講演会等の開催	
	7.1.6 研究設備	
7.2	道守の活動	7-5
7.3	その他活動	7-7